


主催事業

- 5月 総会
- 9月 敬老祝賀会
- 10月 県外研修会
- 1月 一人暮らし高齢者訪問
- 2月 学習会

み か げ

笠間市社会福祉協議会
 稲田支部

第23号

令和6年11月25日発行

発行 笠間市社協稲田支部
 支部長 宮崎 守
 編集 稲田支部広報委員会
 印刷 大塩企画



式典出席者



主催者挨拶



敬老者代表謝辞



山口由美歌謡ショー

長寿を祝う！

敬老祝賀会盛大に開催

9月15日(日)、稲田地区敬老祝賀会が地域交流センター(旧稲田公民館)で開催されました。

当日は来賓の稲田中学校長、稲田小学校教頭、地域交流センター長のご臨席のもと、104人の多くの方のご出席を頂き盛大にお祝いができました。各地区区長をはじめ実行委員、関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。

今年度の稲田地区の75歳以上の対象者は486人(施設入所者を含む)で、男性184人、女性302人でした。おめでとうございます。ちなみに100歳以上の高齢者は男0人、女2人で、市内では57人でした。稲田地区(市内でも)最高齢者は109歳の女性でした。最高齢者については広報かさま11月号で詳しく紹介されています。

だれもがいつかは通る道、一人一人が元気で自分らしく、生き生きと年齢を重ね、心豊かに過ごされることを願ってやみません。

式典は10時開式で、宮崎守実行委員長の主催者挨拶の後、来賓祝辞、

(次ページに続く)

稲田支部総会開催!

令和6年度笠間市社会福祉協議会稲田支部総会が、運営委員出席のもと、5月11日(土)午前10時から地域交流センターいなだで開催されました。運営委員は、各区区長、交流センター役員、民生・児童委員、ボランティア役員、学識経験者等からなる27名です。

宮崎守支部長からは「令和5年度の事業が滞りなく実施できたこと、皆様のご協力に感謝します。」

今年度もご協力をお願いしたいとの挨拶がありました。

その後、令和5年度事業・決算報告、令和6年度事業計画・予算案、区長の交代による運営委員の承認と役員の一部改選(監事は区長より選出)について審議が行われ、承認を頂き、令和6年度の社協稲田支部がスタートしました。詳しくは、次の一覧表と4ページをご覧ください。

支部社協役員・運営委員

役 職	氏 名	現 職 等
支部長	宮崎 守	第110区長、民・児委員 高齢者クラブ会長
副支部長	稲野邊 耕一	地域交流副センター長
副支部長	鈴木 隆	学識経験者
会 計	足立 登	第97区長 地域交流センター長
監 事	仁平 信光	第94区長
監 事	湊 一英	第95区長
広報委員	梅原 守	民生委員・児童委員
広報委員	椎名 芳男	民生委員・児童委員 第98区長
広報委員	潮田 浩	民生委員・児童委員
運営委員	久保田 秀一	第88区長
運営委員	郡司 澄夫	第89区長
運営委員	野沢 幸男	第90区長
運営委員	郡司 明男	第91区長
運営委員	郡司 昌浩	第92区長
運営委員	大島 清	第93区長
運営委員	山口 善史	第96区長
運営委員	市村 一夫	第99区長
運営委員	野口 晶三	第100区長
運営委員	稲野邊 直子	民生委員・児童委員
運営委員	中野 治美	民生委員・児童委員
運営委員	長谷川 泉	元支部長
運営委員	佐藤 正子	ボランティア役員
運営委員	鉾田 まさの	ボランティア役員
運営委員	鈴木 篤子	ボランティア役員
運営委員	五十嵐 茂	高齢者クラブ会長
運営委員	田村 みさ子	学識経験者
運営委員	湯 浅 修	学識経験者



ビンゴゲーム

(前ページより)
打越勇義様より敬老者代表謝辞を頂きました。笠間市長からは「長年にわたり、ご家族や地域社会のため、それぞれのお立場で尽くしてこられ



おみやげを手に

ました。現在の笠間市があるのは、皆様方の努力の賜物であり、心から敬意を表し、改めて感謝を申し上げます」とのメッセージを頂きました。
アトラクションは、地元出身の歌手山口由美さんによる歌謡ショー、そして最後にビンゴ大会でした。歌謡ショーでは、素敵な歌声での昭和歌謡やものねが披露されました。一緒に口ずさんでいらっしゃる方もたくさんいました。ビンゴ大会では、出てくる数字にわくわくドキドキでボランティアみかげのサポートもあり、楽しく和やかな時間を過ごすことができました。
帰りは豪華な弁当と紅白まんじゅうを手には、皆さん満足して帰って行かれました。来年の祝賀会でもまた元気でおいでできますように。

おはなし会「ハッピー」に聞きました



ハッピーメンバー

10月13日(日)笠間図書館で、「ハッピー」の取材をしました。「おはなしのへや」は入口を入ってすぐ右側の円筒形の小部屋で、こぢんまりと落ち着いた場所です。まずは簡単な手品で子どもを引きつけてから、紙芝居、絵本を使っておはなし会です。

子どもとメンバーの距離が近く、子どもにも語りかけながら子どもへの反応を引き出します。話し方にメリハリがあり、工夫が凝らされています。初めちょっと離れたところに座っていた子どもも、話

に引き込まれだんだんと近づいてきました。

終了後、メンバーの方へインタビューをしました。

Q活動はいつからですか？

平成17年10月からです。

Qそのきっかけは何ですか？

「笠間図書館お話し会発足」を聞き、以前から活動していた人が中心となって申し込みました。

Q名前の由来は何ですか？

出会った皆様に笑顔を届けたい、聞いている人見ている人がハッピーになれるようにとの思いから名付けました。

Q現在何人で活動していますか？

5人です。

Qモットーは何ですか？

それぞれの持ち味を生かし、無理をせずに楽しみながら活動をしていくことです。

Q活動の内容を教えてください？

年6回、笠間図書館でおはなし会をしています。その他に放課後児童クラブ(学童保育)や特別支援学校、福祉施設等でおはなし会をしています。10月14日は、「笠間浪漫」のブースでおはなし会を

しました。
Q活動のご苦労はありますか？

新しい作品(出し物)を作りあげることに、楽しんでもらうにはどうしたらよいか工夫することです。

Qよかった、うれしかったと感じる時はどんな時ですか？

私たちの演じたことを見て「おもしろかった」という笑顔と「また来てね」という言葉に出会えた時です。

Q地域の方へ何かメッセージはありますか？

一緒にやってみたい！楽しみたい！という方ぜひ一緒にやりましょう。ハッピーでお待ちしております。

【連絡先】笠間図書館 ☎72-5046



笠間浪漫にて

楽しい人生を送るために

①日々の生活は、若人の気持ちで、常に前向きに

か 感動をする

き 興味を持つ

く 工夫をする

け 健康である

こ 恋をする

②日々の生活はありのまま、何事も

は 半分でいい

ひ 人並みでいい

ふ 普通でいい

へ 平凡でいい

ほ 程々でいい

③人生一度、とにかく

は はりきって

げ げんきいっぱい

あ あかるく

た たのしく

ま まじめに

茨城県民生委員児童委員協議会前理事坂野徹氏の言葉です。含蓄のある言葉です。「かきくけこ」「はひふへほ」「はげあたま」で、これからの人生楽しく送りたいものです。

令和5年度 事業報告

月	事業名
5月14日	令和5年度総会
7月30日	稲田ふれあい祭り（協力）
9月17日	敬老祝賀会
10月12日	稲田ハイキング
11月4日	～5日文化祭（協力）
11月15日	県外研修会（自動車博物館、他）
11月25日	広報紙第21号発行（全戸配布）
12月3日	そば打ち教室（協力）
1月21日	一人暮らし高齢者訪問
3月8日	学習会（備えて安心！防災・減災）
3月29日	広報紙第22号発行（全戸配布）

令和6年度 事業計画

月	事業名
5月	令和6年度総会
7月	稲田ふれあい祭り（協力）
9月	敬老祝賀会
10月	ハイキング（歩く会）
10月	県外研修会
11月	地域交流センター文化祭（協力）
11月	広報紙第23号発行（全戸配布）
12月	そば打ち教室（協力）
1月	一人暮らし高齢者訪問
2月	学習会
3月	広報紙第24号発行（全戸配布）

※（協力）は、「地域交流センターいなだ」主催事業で、社協稲田支部が財政支援を行っている事業です。

令和5年度 決算書

1 収入の部 (単位：円)

項目	決算額	備考
1 会費還元金	337,000	市社協より
2 繰越金	283,638	前年度繰越金
3 広報助成金	33,700	市社協より
4 雑収入	120,002	利子
合計	774,340	

2 支出の部 (単位：円)

項目	決算額	備考
1 事務費	85,183	
会議費	22,875	総会、他諸費
備品費	0	
消耗品費	9,633	事務用品等
通信運搬費	1,890	葉書
報償費	1,785	講師手土産
手当費	49,000	役員手当
2 事業費	515,006	
在宅福祉活動費	39,050	高齢者訪問祝品
地域交流事業費	25,800	ふれあい祭り等
センター活動支援費	80,000	地域交流セ支援
広報啓発活動費	90,200	広報紙発行
関係団体助成費	70,000	4団体助成
研修費	209,956	県外研修中止
3 予備費	0	
合計	600,189	

※ 差引残高174,151円は次年度へ繰り越します。

令和6年度 予算書

1 収入の部 (単位：円)

項目	予算額	備考
1 会費還元金	335,000	市社協より
2 繰越金	174,151	前年度繰越金
3 広報助成金	33,500	市社協より
4 雑収入	240,000	県外研修参加費
合計	782,651	

2 支出の部 (単位：円)

項目	予算額	備考
1 事務費	99,000	
会議費	25,000	総会、他諸費
備品費	5,000	書棚等
消耗品費	10,000	事務用品等
通信運搬費	5,000	葉書・切手
報償費	5,000	講師謝礼
手当費	49,000	役員手当
2 事業費	540,000	
在宅福祉活動費	40,000	高齢者祝品等
地域交流事業費	30,000	ふれあい祭り等
センター活動支援費	50,000	地域交流セ支援
広報啓発活動費	100,000	広報紙発行
関係団体助成費	70,000	4団体助成
研修費	250,000	県外研修
3 予備費	143,651	
合計	782,651	